

令和5年香美市こども議会

令和5年11月20日

香美市教育委員会

令和５年香美市こども議会会議録

招集の場所 香美市議会議場

会議の日時 令和５年１１月２０日月曜日 午後２時００分宣告

出席の議員

大柘中学校

１年	大 石 美玖里	２年	日 浦 実 来
１年	岡 崎 美 杜	３年	几 内 琥太郎
１年	小 松 咲 き	３年	小 松 かなで
１年	小 松 正 宗	３年	小 松 侑 永
２年	楮佐古 正 伶	３年	筆 坂 陽 斗
２年	公 文 愛 子	３年	山 下 稀 生
２年	公 文 怜 音	３年	山 中 あおい
２年	小 松 悠 人	３年	山 中 桃 可
２年	田 渕 優樹斗		

説明のため会議に出席した者の職氏名

【市長部局】

市 長	依 光 晃一郎	建 設 課 長	野 村 文 紀
副 市 長	村 上 真 祥	農 林 課 長	川 島 進
総 務 課 長	竹 崎 澄 人	商工観光課長	石 元 幸 司
企画財政課財政班長	笹 岡 恵 里	環 境 課 長	依 光 伸 枝
定住推進課長	小 松 伯 聖	管 財 課 長	三 谷 恵 司
防災対策課長	中 川 英 斉	ふれあい交流センター所長	植 田 佐 智
税務収納課長	猪 野 高 廣	会計管理者兼会計課長	明 石 清 美
市民保険課長	萩 野 貴 子	《香北支所》	
福祉事務所長	野 邑 裕 永	支 所 長	前 田 哲 夫
健康推進課親子すこやか班長	川 渕 美 香	《物部支所》	
高齢介護課長	中 山 繁 美	支 所 長	片 岡 亮

【教育委員会部局】

教 育 長	白 川 景 子	教育振興課長	一 圓 まどか
教 育 次 長	中 山 泰 仁	生涯学習振興課長	黍 原 美貴子

【消防部局】

消 防 次 長	公 文 徹 朗
---------	---------

【その他の部局】

農業委員会事務局長	和 田 雅 充	上下水道局長	西 村 安 史
-----------	---------	--------	---------

職務のため会議に出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長 一 圓 幹 生 議 会 事 務 局 書 記 今 井 沙 織
議 会 事 務 局 書 記 横 田 恵 子

議事日程

令和 5 年 1 1 月 2 0 日（月） 午後 2 時開議

一般質問

- | | | | | | |
|---|--------|---|---|-----|---|
| ① | 1 年生 | 小 | 松 | 咲 | き |
| ② | 2 年生 | 小 | 松 | 悠 | 人 |
| ③ | 2 年生 | 公 | 文 | 愛 | 子 |
| ④ | 2 年生 | 公 | 文 | 怜 | 音 |
| ⑤ | 3 年生 | 小 | 松 | 侑 | 永 |
| ⑥ | 3 年生 | 小 | 松 | かなで | |
| ⑦ | 3 年生 | 筆 | 坂 | 陽 | 斗 |
| ⑨ | 生徒会副会長 | 小 | 松 | 侑 | 永 |

議事の経過

(午後 2時00分 開議)

○議長(山中あおい君) ただいまの出席議員は17人です。定足数に達していますので、これから令和5年香美市こども議会を開会します。

直ちに、本日の会議を開きます。

議事に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、お集りいただきありがとうございます。こども議会の開催に当たって、私たちは社会の授業や総合的な学習の時間、物部未来学を使い、地方自治の意義や公立公正の視点、物部の課題や方法について、インターネットや地域の人から情報を収集し、意見や質問を考えてきました。考える中で今の香美市の状況をより深く知ることが出来、ふるさとと真剣に向き合う良い機会となりました。

今日は香美市の中学生代表として、責任を持って質問をしていきたいと思います。皆さん、よろしくお願いします。

これから、一般質問を行います。通告順に従いまして、順次質問を許可します。

1番、1年生、小松咲きさん。

○1番(小松咲き君) 1番、小松咲きです。スライド1番をご覧ください。

私たちは大阪へ、ユズの加工品や物部の魅力を発信しに行きたいと思っています。知名度アップを図り、多くの人に物部町に来てもらいたいという思いを強く持っています。その為の費用を香美市で援助していただくことは可能でしょうか。

○議長(山中あおい君) 物部支所長、片岡 亮さん。

○物部支所長(片岡 亮君) はい、お答えします。

ユズとユズの加工品等のPRに行く為の旅費の援助ということですが、現行制度、若しくは新たな制度などにより、何らかの援助は可能であると考えております。

また、ユズ玉や現在ある加工品だけではなく、新製品の企画開発も検討してみてもいかがでしょうか。是非、夢のあるプランを計画して、戦略を企画してみてください。中学生ならではの夢のある発想を期待しております。物部支所としても一緒に考えていきたいと思っています。

以上です。

○議長(山中あおい君) 小松咲きさん。

○1番(小松咲き君) ありがとうございました。

○議長(山中あおい君) 1年生、小松咲きさんの質問が終わりました。

次に、2番、2年生、小松悠人さん。

○2番(小松悠人君) 2番、小松悠人です。

現在の物部町では、食品や日用品の買い物が出来る店が少なくなっています。また、存続している店も営業時間が短く品揃えも不十分なので、住民は香北町まで買い物に行ったりしています。そこで、それらを解消する為、物部町の国道沿いにコンビニが

あればと思っています。物部町の旧ふおれすとにコンビニを誘致するのは難しいでしょうか。旧ふおれすとは、国道沿いでトラックなどの輸送車が多く通ります。その為、コンビニを利用する人が多くなると予想されるので、是非誘致をお願いします。

○議長（山中あおい君） 副市長、村上真祥さん。

○副市長（村上真祥君） コンビニエンスストアの誘致についてお尋ねがありました。

一般的に全国チェーンのコンビニエンスストア1店が出店をする為には、約3,000人の消費者商圈人口が必要とされています。人口減少が進む物部町への誘致は、コンビニの採算を考えると難しいのではないかと考えられます。しかし、全国チェーンのコンビニの誘致は難しいのですが、こうした不便な状況を住民の方が自らの力で変えようとして、自らコンビニを立ち上げられたケースがあります。その一つが津野町にある交流施設、森の巣箱という施設です。これは小学校の廃校を活用した施設でありまして、集落のコンビニとして、生活に必要なものや住民の好みを踏まえた無駄の無い品揃えを行っています。地区内の生産物を販売するコーナーも設置して、運営には住民全員が関わっています。域外の商店ではなく、この施設で買い物することによって、地域ぐるみで店舗を支えようとしているというふうに聞いております。

物部町内にも地元で頑張っておられるお店があります。地域の方々が地域のお店で積極的に買い物をすることで、お店の経営の維持、更には品揃えの充実につなげることが出来ると思います。また、仕入れて欲しい商品をお店に提案をしたり、品出しや遅い時間の店番を交代でお手伝いをすることによって、地域のお店を物部町のニーズに合った、そして、物部町にしか無い地域のコンビニに変えていくことも考えられるのではないのでしょうか。その為には地域に人が住み続けるということが重要でありますので、地域の維持、活性化など、これからの物部町について、大栃中学校の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

以上です。

○議長（山中あおい君） 小松悠人さん。

○2番（小松悠人君） ありがとうございました。

○議長（山中あおい君） 2年生、小松悠人さんの質問が終わりました。

次に、3番、2年生、公文愛子さん。

○3番（公文愛子君） 3番、公文愛子です。

現在、大栃から歩いて数十分で行ける公園は5つほどありますが、遊具がある公園が少なく、5つのうち3つしか遊具がありません。遊具があつたとしても怪我を招いてしまいそうな古い遊具が多く、それに加え草などが生え、管理が行き届いていないところがほとんどです。

そして大栃では、最近子ども達が外に出て遊ぶ機会が少なくなっています。

運動能力の低下や自然と触れ合う機会も同時に無くなってしまっています。これらの対策、改善に向かう為、子ども達が気楽に集えて楽しく安全に遊べる遊具を大栃に誘致していただけないでしょうか。

○議長（山中あおい君） 物部支所長、片岡 亮さん。

○物部支所長（片岡 亮君） お答えします。

おっしゃるとおり、確かに永瀬ダム湖畔の公園には、小さな子供が遊べる遊具のある公園はございません。対象児童数や設置費用、維持管理を考えると、今後も設置することは困難であると考えております。ただし、物部にはそれに負けないくらいの豊かな自然があります。その自然のキャンバスを遊びの題材として考えてみてもらいたいと考えております。

地域には、知恵袋を持った遊びの達人のおじいさん、おばあさんが沢山おられます。その方々に昔遊びなどを習ってみるのも楽しいと思います。

以上です。

○議長（山中あおい君） 公文愛子さん。

○3番（公文愛子君） ありがとうございます。

○議長（山中あおい君） 2年生、公文愛子さんの質問が終わりました。

次に、4番、2年生、公文怜音さん。

○4番（公文怜音君） 4番、公文怜音です。

私たちの先輩の多くが香美市以外の高校へ進学していますが、通学費が大変そうです。私たちも卒業後の進路を考える時、高等学校への交通費について特に考えることがあります。香美市のホームページで高等学校での通学費の補助が出ているということを知りました。しかしよく調べてみると、補助金の対象となる生徒がいなかったことが分かりました。

私たちは、地元にあった大栃高校が山田高校と統合されたことにより地元に高校がありません。私たちは必ず高等学校に進学する場合、土佐山田町までは通わないといけません。私たちは大栃に住みながら、高校へ通学していきたいという思いから、土佐山田町までのバス料金を全額補助していただきたいです。このような負担される額の軽減は、これからの香美市の定住促進にもつながり、より住みやすい地域へと変わっていくと私たちは考えます。よろしくお願いします。

○議長（山中あおい君） 教育振興課長、一圓まどかさん。

○教育振興課長（一圓まどか君） お答えします。

ご質問にもありましたとおり、香美市では、香美市高等学校等通学費補助金交付要綱を制定しており、高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部、または専修学校高等課程に通学する者について、保護者が負担する遠距離通学に係る費用の一部を補助することとしています。補助の対象は、香美市内の高等学校等に通学する場合は、自宅から学校まで8キロメートル以上であること、香美市外の高等学校等に通学する

場合は、自宅からＪＲ土佐山田駅までの距離が８キロメートル以上であることが条件です。補助金額は通学定期券購入費のうち、１カ月当たりで１万円を超える金額です。

現在、大栃駅から美良布駅までは市営バス、美良布駅からＪＲ土佐山田駅まではジェイアールバスが運行しています。ジェイアールバスの定期券購入費は１カ月９,９００円で、これを購入すれば市営バスの運賃は無料となります。したがって基準額の１万円を超えないことから、この区間の通学者には補助対象者が現在いない状況にあります。

そこで、現在、この通学費補助制度がより使いやすいものとなるよう、上限額の引き下げを含めて検討をしておるところでございます。

以上です。

○議長（山中あおい君） 公文怜音さん。

○４番（公文怜音君） ありがとうございます。

○議長（山中あおい君） ２年生、公文怜音さんの質問が終わりました。

次に、５番、３年生、小松侑永さん。

○５番（小松侑永君） ５番、小松侑永です。

ごみ集積アプリは工科大学とタイアップして香美市が行っているそうですが、市ではどのように活用されていますか。分かることがあれば教えて欲しいです。

○議長（山中あおい君） 環境課長、依光伸枝さん。

○環境課長（依光伸枝君） お答えいたします。

高知工科大学と連携して実験的に行っていたＬＩＮＥの通報機能の一つとして、ごみ集積に関するメニューがありました。しかし、検討を行う中で市民の皆さんから得た情報全てを管理することが今の段階では困難ということになり、導入を見送っている状況です。ごみ集積に関する機能が必要ということは、それだけ市内で空き缶や煙草の吸殻など、ごみのポイ捨てが行われており、地域の環境美化が損なわれているということになります。この機能を使わなくてもいいような地域にしていける為にどのようなことが出来るのか、大栃中学校の皆さんにも考えていただければと考えています。

以上です。

○議長（山中あおい君） 小松侑永さん。

○５番（小松侑永君） ありがとうございます。

○議長（山中あおい君） ３年生、小松侑永さんの質問が終わりました。

次に、６番、３年生、小松かなでさん。

○６番（小松かなで君） ６番、小松かなでです。

こちらのスライドをご覧ください。

私たちは物部の上流に住んでいますが、総合の学習でダム周辺のごみ調査をした結果、沢山のごみが落ちており、私たちでは手に負えない部分もありました。そこをどのように対策していますか。

また、香美市の水資源を安心して安全に利用出来るものにするためにはどうしていますか。教えて下さい。

○議長（山中あおい君） 環境課長、依光伸枝さん。

○環境課長（依光伸枝君） お答えいたします。

ダムのごみについては、ダムの管理事務所が処理をしていますので、環境課で分かる範囲でお答えしています。

先ほどのスライドにあったようなごみ以外、例えば台風や大雨の時などに濁流と共に大量に流れつく流木や木屑は定期的に撤去され、チップ化による助燃剤への再生利用が行われているようです。この他にも、ダムにはペットボトルやビン、缶など様々なごみが流れ着いています。これらは全て誰かが捨てたものが川に流されるなどして辿り着いたものです。

限りある水資源を安全で安心して利用出来るものにするためには、私たち人間一人一人の行動にかかっています。人々が地域のルールを守らずに自分勝手にごみを捨てると、地域の環境はたちまち悪化します。

そうならない為にも私たち環境課では、日頃からごみのポイ捨てや不法投棄の禁止など、様々な機会を通じて啓発を行っています。一人一人が自然環境を守る意識を持ち行動することが、持続可能な社会の実現につながります。今日、皆さんからいただいたこのご質問は、私たちが住んでいる地域だけの問題ではありません。この質問をきっかけに市民の皆さんのみならず、観光やレジャーでダムを訪れる方、一人一人の行動変容に繋げていくことが必要と考えております。

以上です。

○議長（山中あおい君） 小松かなでさん。

○6番（小松かなで君） ありがとうございます。

○議長（山中あおい君） 3年生、小松かなでさんの質問が終わりました。

次に、7番、3年生、筆坂陽斗さん。

○7番（筆坂陽斗君） 7番、筆坂陽斗です。

私たちは総合の学習で、ダムのごみ調査や水資源について学習しています。先ほどの質問に関わって、香美市のSDGsの12番目の目標「つくる責任、つかう責任」、14番目の目標「海の豊かさを守ろう」、15番目の目標「陸の豊かさを守ろう」について、取り組まれていることがあれば教えて欲しいです。

○議長（山中あおい君） 農林課長、川島 進さん。

○農林課長（川島 進君） 先ほどの質問のごみの関係の他に、水を育む森林に関して話をさせていただきます。

香美市は総面積の87%が森林で、広大で豊かな森林資源を持っています。木材は、伐って、使って、植えて、育てて、そしてまた伐って、使ってのサイクルで再生産することが出来る持続可能な資源と言われており、森林、林業、木材産業はSDGsの

目標達成に貢献しています。

市の取り組みとして、森林組合などが行う森林整備や森林整備を行う人材育成への支援、木材利用の推進や森林に関わる情報の発信を行っています。

この中の森林整備に関し例を挙げますと、木材を伐った後に再び苗木を植えたり、間伐するなどの森林整備を進め、森林の手入れを行うことで健全な森林となり、水資源の貯留、洪水の緩和、水質を浄化する機能や土砂の流出を防ぐ働きを高めることに繋がっています。

なお、環境問題に限らず、森林や木材に関連する職業についても機会があれば学習をしてみてください。

以上です。

○議長（山中あおい君） 筆坂陽斗さん。

○7番（筆坂陽斗君） ありがとうございました。

○議長（山中あおい君） 3年生、筆坂陽斗さんの質問が終わりました。

次に、9番、生徒会副会長、小松侑永さん。

○9番（小松侑永君） 9番、小松侑永です。

香美市、特に物部町にIターンで入ってきている人がいると思いますが、その方々が何故入ってきているのかを知りたいです。そして、私たちは物部町に沢山の人が来て欲しいので、Iターンをした人達が仕事出来るような環境を整えて欲しいです。

○議長（山中あおい君） 定住推進課長、小松伯聖さん。

○定住推進課長（小松伯聖君） 定住推進課長の小松です。

香美市では移住者の受け入れに力を入れております。特に人口が少なくなっている香北町区域、物部町区域への移住・定住の推進を重点目標として取り組みを行っております。

物部町への移住者は令和2年は6組8人、令和3年は5組10人、令和4年は3組4人となっております。毎年何組か移住者の方には移住していただいております。

移住者の方々の移住を決めた理由については人それぞれ、様々であります。総務省の移住者に対するアンケート調査、日本全国の調査になるがですけども、移住を決めた理由のトップ3に関しましては、これはほぼ都会から田舎ということでイメージしていただければいいと思います。気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたかった。2つ目、働き方や暮らし方を変えたかった。3番目としまして、都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたかったとあります。

実際、物部町に移住してきた方のアンケートというか、いろいろ相談を通じて得た情報のことでございますが、まあセカンドライフをのんびり楽しみたいと思ったという方や、物部のユズ農家に弟子入りしたい、などといったことが上げられております。

大体自然環境や生活スタイルの変化など、全国的なアンケートと似たような傾向があるものと思っております。

ただ、理由は同じ傾向ではございますけれども、日本全国の中から高知県の香美市物部町を選んで移住していただいているわけです。これに関しましては地元の皆様方も気づかない、または当たり前と思っている物部町の自然や風土などについて、魅力を感じているものだと感じております。

また、移住者の方の仕事とかに関しましては、香美市の移住相談を委託している団体などで相談を受け付けておりまして、移住者の不安の解消に努めております。

更に物部町だけでなく香美市全域では、工場であるとか会社などの誘致活動も積極的に行っておりまして、移住者だけでなく市民の方々の働く場の確保についても力を入れております。

以上となっております。

○9番（小松侑永君） ありがとうございます。

○議長（山中あおい君） 生徒会副会長、小松侑永さんの質問が終わりました。

以上で、今こども議会に付された事件は全て議了しました。

こども議会終了に当たり、市長から発言を求められておりますので、これを許可します。市長、依光晃一郎君。

○市長（依光晃一郎君） 議会の閉会に当たりまして市長よりご挨拶を申し上げます。

まず、議長の進行によりまして滞りなく議会が終わります。今日の質問を聞かせていただきまして、我々執行部一同、緊張感を持って皆様方の質問に対してお答えをさせていただきました。私が見ても、職員の皆さんも、中学生の真剣な質問に対してしっかりと答えたいという思いで答弁をさせていただいたのではないかなというふうに思います。

先生方も今日に至るまで、いろいろな学習をされたというふうに思います。特に私が素晴らしいなと思ったことにつきましてお話をさせていただきますと、まず、実際に一番最初に、冒頭に言われておりましたが、インターネットで調べる、そして、自分の足で直接課題についてお聞きになられた、そのことが非常に素晴らしいことであるというふうに思います。私も議員という仕事を県議会に11年、そして市長もやらせていただいておりますが、やはり現場に行き、そして聞く、そしてまた、いろいろな情報をいろいろな手段を使って、特に大栃中学校ではインターネットの活用も素晴らしい取り組みをされているというふうに聞いておりますので、そういった力が皆さんについていること、本当に嬉しく思います。

また、デジタル化ということで画像を使って質問に臨んでいただきました。やはりこの質問に対して、聞いているみんなが分かりやすく説明を聞くことが出来て、私11年県議会議員やっておりますが、こういった資料を使つての質問ということはやっ

ておりませんでした。

それぞれがこれからの将来を考えるに当たって、いろんなことを考えている時期ではないかなというふうに思います。今日の質問1つ1つが、それぞれ議員の皆様方が1つ1つ考えられて作り上げられたものではないかなというふうに思います。

この課題、答弁もなかなか難しかったわけではございますが、なかなか直ぐに答えが出せる問題というわけではありません。この皆様方が学習の中で地域を愛する心、そして地域に貢献する思いを育んでいただいておりますというふうに思います。我々執行部もしっかりと、そういった議員の皆さんの思いに応えて、一緒になって取り組んでいきたい、そのように考えております。

議会は本日で終了するわけではありますが、いろいろな学習の中で気づいたこと、提案があれば、今日は物部支所長も気合いを持って、交通費の補助も出すという話もしておりましたので、いろんなところに売り込みに行きたいであるとか、思ったことを是非、学校の先生を通じてでもいいので、是非とも市のほうに上げていただければと思います。皆様方の学習につながる、また将来につながることにしましては、私は市長として、しっかりと予算も上げて、そして議会のほうにも説明させていただきたいというふうに思っております。

皆様方がこれからも香美市の課題に真剣に考えていただき、そしてそれぞれが希望する進路に向かって進んでいかれますことをご祈念いたしまして、閉会に当たっての私のご挨拶とさせていただきたいというふうに思います。本日はありがとうございます。

○議長（山中あおい君） ありがとうございます。

それでは、閉会に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は私たちの質問に分かりやすく返答していただきありがとうございました。私は今日の返答を聞いていて、地域の将来についてとても考えていることが分かり、地域づくりにとても興味を持つことが出来ました。また、まだまだ知らないことがあるなと感じました。私たち若い人や大人が、もっと今の香美市の現状を知ることがよりよいまちづくりにつながると思います。なので、これからも香美市について一杯知り、自ら行動を起こしていきたいと思います。今回の活動を通して、遠くの存在だった政治が一気に身近なものに感じる事ができました。ありがとうございました。

今の若者の投票率の低さが大きな問題になっています。私たち3年生は、3年後には選挙権が与えられます。その時にはこのこども議会を思い出し、どのようにすれば香美市がもっと良くなるのかを考え、清き一票を投じることで政治に参加していきたいと思います。このような機会をいただきありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年香美市こども議会を閉会いたします。今日は本当にお疲れ様でした。

（午後 2時32分 閉会）